



子ども環境フォーラム 2019



2019年11月2日（土）

於：川口市立安行小学校
後援：川口市教育委員会

主催：認定 NPO 法人川口市民環境会議
協力：川口市立安行小学校



この事業は公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けて実施しました。

プログラム



10:00~10:10

開会 あいさつ

認定 NPO 法人川口市民環境会議 代表理事
川口市教育員会 学校教育部指導課
川口市立安行小学校 学校長

* 敬称略 *

浅羽 理恵

新居 良介

吉田 明美

10:10~11:40

環境活動発表

- 1 神根中学校 2 年生 張替 桜実
- 2 鳩ヶ谷小学校 4 年生 水岡 佳音
- 3 差間小学校 6 年生 白石 慶汰
- 4 自然っ子クラブ
- 5 在家小エコクラブ
- 6 安行小こどもエコクラブ
- 7 安行小学校環境委員会
- 8 戸塚南小あすばるエコクラブ
- 9 劇団ちょっぷ (環境戦隊エコレンジャー)



12:40~14:30

ワークショップ体験

- ① 種を集めよう
- ② 自然の森どんぐりゴマ選手権
- ③ 自然材料のエコ工作
- ④ 赤堀用水と湧水を調べよう
- ⑤ 葉脈 (ようみやく) でしおり作り
- ⑥ ツリーライミング

講師 西川 昭三

講師 横山 隆

講師 井原 勲

講師 荒川夢クラブ 林 美恵子

講師 吉野 修弘

講師 ツリーライミングジャパン

オフィシャルインストラクター 大西 一彦

- ⑦ 作ろう! 飛ばそう! 平成竹とんぼ!

講師 小峰 敏郎

- ⑧ 染物教室

講師 神山 裕則

- ⑨ 電気を作って手作り模型で遊ぼう

講師 萩原 利夫

- ⑩ 手作りおもちゃ

講師 四條 延子

- ⑪ エコなクッキング

講師 内藤 康子

- ⑫ 牛乳パックでハガキ作り

講師 谷崎 英子

14:30~15:00

ワークショップの報告・閉会あいさつ



1. 神根中学校 2年生 張替 桜実

突然ですが、みなさんはエコライフについて考えたことはあるでしょうか。

これからお話することは、小学生の皆さんにとっては少し難しいかもしれませんが、しかし、これからのわたしたちの生活や地球の未来に深くかかわるようなことなので、少しお付き合い下さい。

では、最初に今の地球の現状についてお話ししたいと思います。

今の地球の現状として、一番身近なことは、最近の夏がものすごく暑いことです。また、異常気象や南極の氷が溶けたり、海面上昇などがあげられます。そんな地球の危機の中で私たちにできることは、地球にエコな生活を送ることだと思います。

例えば、水を出しっぱなしにしないとか、誰もいない部屋の電気は消すとか、ちょっとしたことが多いと思います。そんな細かな一つ一つの行動を、この会場にいるみなさんだけでも実行していくことで、私たちの未来は大きく変わってきます。

私は、中学校で行われたエコライフの取り組みの一つであるアンケートをしました。そのアンケートの項目は、先ほど申し上げた通り、水を出しっぱなしにしないとか、誰もいない部屋に続けて入るとか、そういったものでした。

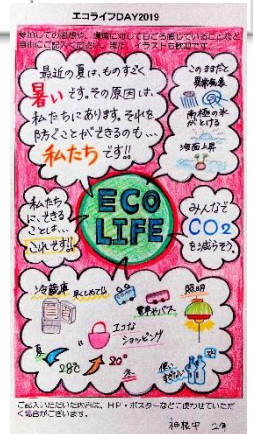
それぞれの項目ができれば○をつけて、項目ごとに数字が書かれていて、○のついた数字を足すとどれくらいの量のCO2を減らすことができたかわかるというアンケートでした。

私はそのアンケートを受けて、私たちにとってエコライフは、他人ごとではないと感じました。そのことを感じた私は、アンケートの裏の小さなスペースにエコライフに関する絵をかきました。その絵の内容は、今までお話ししている通りです。

最後に、今回のように私が感じたことを、この会場にいる皆さんにお伝えしているように、エコライフは身近であること、また大切だということ、どんどん家族へ、お友達へ、たくさん広めていっていただければ、地球の環境にとっても、そこに住む私たちにとっても良いことだと思います。そして、まず第一歩として、この会場にいるみなさん一人一人が地球にやさしい生活「エコライフ」を送ることが大切であることを、今日とにかく私は伝えたいです。今回の話を聞いて、部屋を出るときに「あっ、電気消さない」とか、歯磨きしているときに「あっ、水をためよう」とか、そういうことをみなさんの生活の中で意識してくれたから、私はすごくうれしいです。ぜひ、今日のお話を頭の片すみに入れて生活してみてください。



項目	人数	削減量 (kg)
誰もいない部屋の電気を消すようにした。	34	34
夏でないときは、半ズボン穿くようにした。	45	45
テレビゲームや携帯ゲーム機は、電源を切るようにした。(しなかった。)	182	182
電池製品を壊さないときは、正しく使うようにした。	73	73
片側目の自転車は片側を走らせて歩かずに歩いた。(歩かずに走った。)	141	141
お風呂はきめ細かいシャワーにして、お湯をためずに流すようにした。	233	233
ご飯やおかずを残さず食べるようにした。	39	39
近くの産物でできたものを食べるようにした。(家の人にきいてみよう)	37	37
レジ袋をもらわないようにした。	56	56
マイボトルを持ち歩くようにした。	46	46
エコ商品を使うようにした。(エコマークのついたものやエコ製品など)	130	130
ごみ分別を徹底して分別するようになった。	130	130
水や歯磨き粉を節約するようにした。(お風呂のシャワーのときなど)	245	245
シャンプーやハンドソープなどを使いすぎないようにした。	45	45
外出するときは、歩いたり、自転車・バス・電車を利用したりするようにした。	282	282



2. 鳩ヶ谷小学校 4年生 水岡 佳音

今日は、私が夏休みに環境問題について調べたことをお話しさせていただきます。

環境問題と聞くと、地球規模の壮大な範囲のことなので、自分ではどうすることもできないのではと思っていました。自分にできるといえば、ごみの分別くらいでしょうか…。それでどれくらいの効果があるのかよくわかりませんでした。



しかし、夏休み環境センターに行って、職員の方や、川口市民環境会議の浅羽さんにお話をうかがってみるとびっくり！自分にできる身近なことで大きな効果があることがわかりました。その点について皆さんにお話しできたらと思いますので、ぜひお聞きください。

それでは、職員さんに質問し、教えていただいたこととお話しさせていただきます。

◆まず、最初の質問は、川口朝日環境センターに出される主なごみは何が一番多いかということです。

答えは、**20%がプラスチックごみ、20%が生ごみ、一番多いのは、40%紙ごみ**でした。そして、なんと一番多い紙ごみはリサイクルでき、有効活用できるということです。

私はこの話を聞いて、紙ごみは絶対に資源ごみに出すと決めました。皆さんもリサイクルできるように、紙ごみは資源ごみに出しましょう

◆次に、質問したのは川口朝日環境センターでは何人くらい働いているのかということです。

答えは、**市の職員さんが百人、燃やす業者の方が百人もいて、なんと24時間ずっとごみを燃やし続けている**ということでした。

多くの方が、町をきれいにするためにがんばってくれています。私たちもごみを減らしたり、ごみの分別をしたりすることで負担を軽減できるようにしましょう。

◆次に、川口市で出るごみの量はどれくらいあるかということを質問しました。

答えは、**年間約18万トンあり、それらはできる限りリサイクルし再利用していて、最終的に埋め立てるのは7千トンになる**ということでした。なんと、**ごみはリサイクルすることで20分の1以下にもなる**ことがわかりました。

毎日たくさんのゴミが出ています。リサイクルできるようにしっかり分別しましょう。

次は、浅羽さんにお伺いしたことをお話しします。


まず、地球温暖化とよく言われますが、その原因についてたずねたところ、二酸化炭素(CO₂)が増えすぎて、地球を毛布でくるむように温めてしまっているからでした。

そして、なぜ地球温暖化が進むと大変になるのかについてたずねたところ、その回答は、「世界の天気がおかしくなっています。大きな台風が起きたり、北海道などの暑くなかったところも暑くなったりしています。木や農作物が枯れたり、海の温度が高くなってきているので、生きていけない生き物が出てきます。」ということでした。うーん大変です。

最後に、地球温暖化が進まないように私たちは、何をすべきかという質問をしたところ、まずは地球温暖化に関心を持つこと。

一人ひとりだとエコライフデーに書いてあるような、電気をこまめに消す、食べ物を残さない、物を大切に



- 電気をこまめに消す 
- 食べ物を残さない
- 物を大切に使う

3. 差間小学校6年 白石 慶汰

今日は、環境、そして、エコに関するぼくのことを聞いてください。

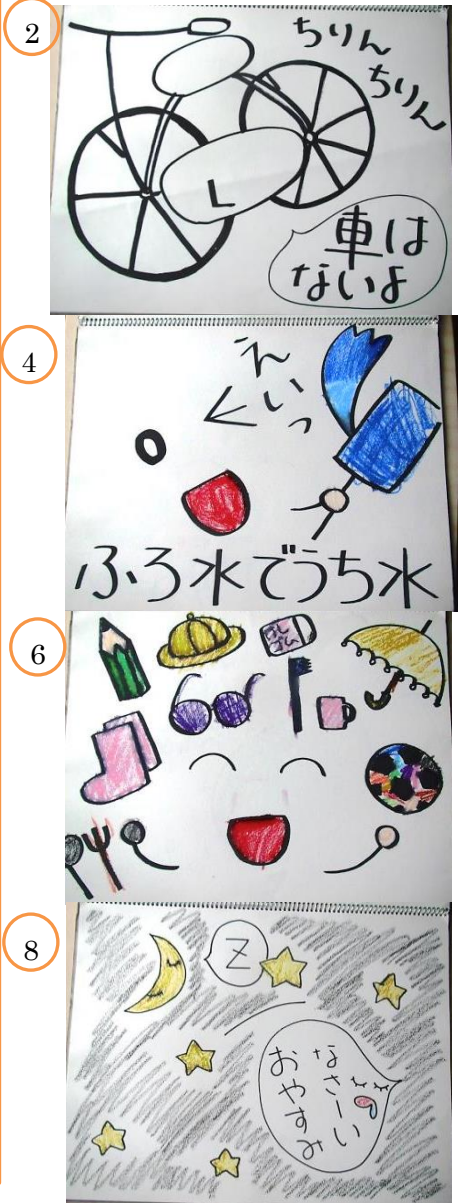
最初に、この子ども環境フォーラムで、8年前、ぼくの姉が当時1年生で自分の生活を紙芝居にして大勢の前で発表しました。

ぼくは、それを見て今の生活と全く変わっていないと思いました。

その紙芝居をもう一度読んでみたいと思いました。



- ①みなさんこんにちは。差間小1年2組白石かりんです。入学して電気係になりました。
- ②家は川口市のはずれの東川口。車ではなく、自転車でもどこまでも行ってしまふ家族です。
- ③まいはしやエコバックは当たり前です。
- ④ふろ水で、まきまくったら…
- ⑤夏には玄関は朝顔だらけになりました。グリーンカーテンというんだそうです。
- ⑥約束ごともあります。物はなくてもこわしても、うちはすぐには買えません。物は大事にしましょう。
- ⑦寒くなると、湯たんぽを使って、朝は中身のお湯で顔を洗うとあったかいです。
- ⑧夜、暗くなったら部屋は真っ暗で寝ます。そして～朝明るくなって、鳥がびよっ！と鳴いたら私は起きます。



みなさんいかがでしたか。まるでエコのかたまりの生活ですね。

ぼくが特に気に入っているのは、夏休みの朝に咲いているたくさんの朝顔です。

こうしてうれしくなったり、楽しくなったりするエコ生活が、家族やぼくの幸せだと思います。いくら偉い人がりっぱなことを言ったとしても、実行しなければ何の意味もありません。ここにいるみんなが、毎年取り組んでいるエコライフデーが、どんなにすごいことなのか、未来を変えるのはぼくたちなのです。

ぼくたちが大人になったら未来が変わっているといいですね。

4. 自然っ子クラブ

私たちは自然っ子クラブです。川口自然公園の北側の見沼自然の家付近で活動しています。



4月、草もちつきと、野草の天ぷらです。



6月、田んぼも始まりました。



9月、稲かりもしました。



8月、デイキャンプです。あい染めやスイカ割りもしました。



12月、収かく祭です。昔のお米のつくり方を学びました。おもちもついて食べました。



自然観察会・カードをゲット

毎月、イベントの後は、自然観察会です。その場で見つけた植物や虫・鳥の自然観察カードをもらえます。たくさん集めた子は、150枚以上も持っています。



ボルネオ親子スタディツアー②

今年の重点テーマは、ボルネオと日本のつながりです。ボルネオは、日本から飛行機で6時間のところですよ。

ボルネオ島は、マレーシア、インドネシア、ブルネイ3つの国から成り立っています。

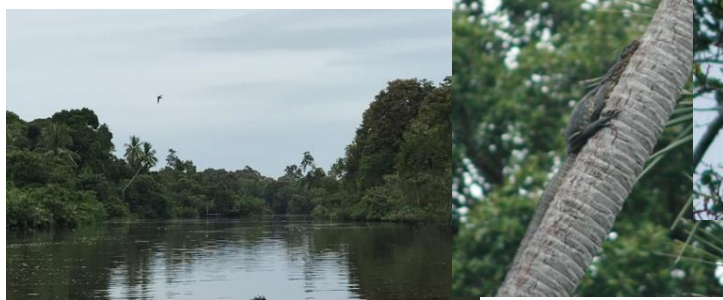
ボルネオの学習

ジプシーさんの話を、小俣さんから聞いたりして学習を進めています。



クリアス川リバークルーズ

話を聞いて、昨年「親子ボルネオスタディツアー」を計画して行ってきました。テングザル、ミズトカゲがいました。



ライトアップ

夜に山の上について、シーツをはって電気をつけると虫が寄ってきます。3本ヅノのウォレンオオカブトです。



ボルネオオオカブト

枯れ葉のようなガや金色に光る虫、太ったクワガタ。感激です。



○ 昨年であったゾウは、赤ちゃんの時、お母さんを殺されたそうです。今年の子は、鼻を村人に切られたそうです。木の芽を食べるからだそうです。

Increasing the conflict between Human and Elephants
人とボルネオゾウとの衝突が激増している。

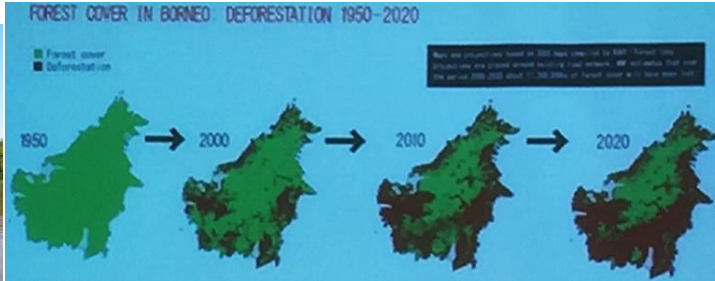


↑2013年 アブラヤシ農園の近くで14頭のゾウの群れが毒殺された。母乳を飲んでいたため助かった生後数ヶ月の赤ちゃんゾウが母親の目を何度もさすり起こそうとしていた。



住みかをうばわれたオランウータンです。

川のそばまでパームヤシ畑です。国は、川から50mは、畑にしてはいけな
いとっています。



FOREST COVER IN BORNEO DEFORSTATION 1950-2020



70年前までは、ボルネオは緑の島でした。↑パームヤシ畑は、今は島の半分まで増えています。

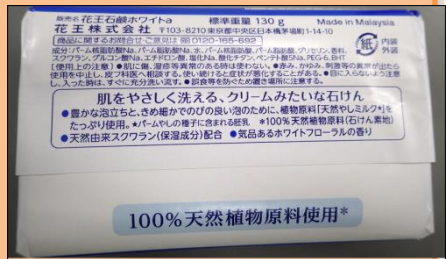
←ジャングルは、場所によっては、こんなに少なくなっています。

パームヤシは、チョコレート、ドーナツ、ラーメンやせっけんにまで入っています。

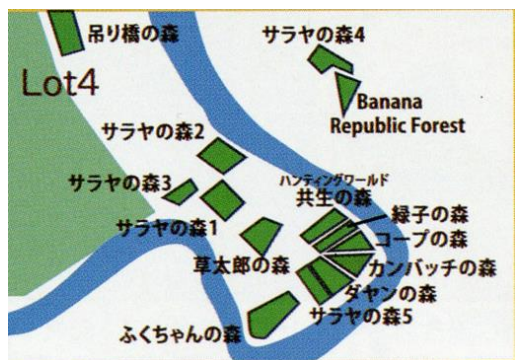


日本人は、パームヤシ油を1年間に4キログラムも食べています。

卵ほどの大きさです。パームヤシ油は、外側が食用に使われ、白いところは洗剤などに使われています。



オランウータンは、木から下りることはできません。道路ができると他に行けないので、子どもを残すことができません。



ジプシーさんの森を作ろう

川沿いに土地を買って、植林をしてジャングルを取り戻します。

多摩動物公園にいたオランウータンのジプシーさんは、3歳の時日本につれてこられました。そして、62歳になるまでここで暮らしました。

日本のオランウータンの33頭のうち、16頭が子どもや孫です。ジプシーさんは、言葉もわかり、もらった本は読むし、帽子をかぶります。



毛布も寒いとかぶります。とてもおしゃれだったそうです。ボルネオオランウータンのジプシーの名を故郷に残しておきたいと小俣さんは考えました。僕たちも協力していきます。



川口駅募金活動

4月から、月に1回川口駅東口で、募金を呼びかけています。多いときは、3万円も集まりました。



あすばるサマーフェスティバル児童センターあすばるでも、ボルネオに自然を。ジプシーの森の募金をしてもらいました。多いときは、3万円も集まりました。



安行小4年生の手で生まれたバッジも、今はキーホルダーにもなり200円を募金した人にあげています。



5. 在家小エコクラブ

わたしたちは在家小エコクラブです。活動は4つあります。



1つ目はビオトープの手入れです。年2回、水辺の生き物調査をしています。





2つ目の活動は、畑の活動です。

- ・ジャガイモを育てて、ふかして食べたりします。
- ・カレーパーティー
畑でとれた野菜を使ってのカレー作りもしました。



3つ目は自然を楽しむ活動



←夜咲く花の観察会。

アイの生葉をたたいて作ったバックです。→



4つ目は、「世界の人とつながろう」では、ラオスの子どもに文具を届ける活動です。



今年も協力してもらった学校は、安行小、戸塚南小、在家小、差間小、自然っ子クラブなどです。

神山先生、増塩先生に持って行ってもらったのは、えんぴつ、ボールペン、日本の絵本、竹とんぼです。



**日本の絵本にラオス語を貼ったもの。→
ラオスには本屋さんほとんどありません。**

小さなおもちゃやタオルも病院に持って行ってもらいました。今年、一人40kgの荷物を持って行きました。





ラオスは貧しい国です。屋根に穴があいていることもあり、雨が降ったらお休みです。ラオスは、お坊さんがいっぱいいる国です。村には必ずお寺があります。

市場では、こんなに大きな魚も売っています。くだものもたくさん取れます。



学校に行って、ひとりひとりになわとびをあげました。顔も日本人とよく似ています。どの学校にもサッカーボールや、ゴムだん用の輪ゴムを持って行きました。



この学校は、1,2年生が9人だけの学校です。大なわをして遊びました。

バンシン小学校です。教室に入ると、全員が立って「サバイディ」とあいさつをします。「こんにちは」という意味です。



教室でひとりひとりに、えんぴつ、ボールペン、竹とんぼを渡しました。外に出てもらい、代表の子に日本の絵本を渡します。



増塩先生が日本の本の読み聞かせをしました。

繰り返しのお話
なので、言葉がわか
らなくても食い入
るように見ていま
す。



読書タイムです。じっとみんな読み始
めました。シーンとしたすてきな時間
でした。

自己紹介カードを書いてもらいま
した。自分の好きなことやなりたいものが
書いてあります。

自己紹介カード



あとの2校は、メコン川を渡った先にあります。
車ごと運ぶ船です。



バンソン小学校です。
ここも、校舎の中は、へこんで穴が開
いています。丸いタイヤの部品がチャイ
ムです。
石でたたき
ます。



今年は、支援先が2校から5校に増えました。

ここは、1、2年生が通うモンの村です。

校舎は、屋根に穴が開いていて、水道や電気、トイレもありません。机も古いも
のです。

校庭のすみにお菓子
屋さんがありました。

校庭のすみを牛もよ
ぎります。牛は、畑を耕
す大切な家族です。





ラオ・フレンズ

ラオスで子ども病院を作っている日本人もいます。赤尾さんです。



ぼくたちは、ラオスの少数民族のモン族の刺しゅうしたミサンガや小物入れなどを買ってきて売っています。売ったお金で、ラオスの子どもたちに、文具や教科書、本を買って送っています。



6. 安行小子どもエコクラブ

テーマはエコ活動「いのちをつなぐ」です。安行小学校では、飼育委員会とエコクラブで協力してヤギを育てています。昨年の6月、ヤギの赤ちゃんが生まれました。25分休みのことでした。学校のヤギ小屋で新しい「いのち」が生まれました。



●エコクラブでは、「いのちをつなぐ」いろいろな活動をしています。

6年前、アカガエル飼育が始まりました。戸塚南小あすばるエコクラブの子どもたちと交流して、卵をひきつぎました。アカガエルの卵の里親もよびかけました。アカガエルになるまで育てたら、5くすのきで買い取り放流します。

取り組みから2年、アカガエルが大きく育て田んぼや池にたまごが産まれました。戸塚南小からあずかったアカガエルの「いのち」をつなぐことができました。見てください。これがアカガエルの卵です。



しかし、2年前の冷房工事、学童校舎の工事が始まると、またアカガエルの姿が見えなくなりました。池のそばに冷房の機械が置かれました。アカガエルがすみやすくなるように考えました。

安行小学校では、5年生が総合で米作りをしています。そこで、エコクラブも協力して、アカガエルがすみやすいように田んぼを増やすことにしました。そして、今、またアカガエルがよみがえりました。



●2年生は、毎年、ヤゴ救出大作戦を行っています。

エコクラブでもヤゴ調査をしています。

プールにはシオカラトンボ、ナツアカネ、ギンヤンマも育てています。プールにゴムボートも出して、ヤゴをプールの授業前に救出します。救出したヤゴは、理科室前の水そう、池、田んぼにもどしてあげます。こうしていのちをつなぎます。



理科室前の池からギンヤンマが羽化しました。手にのりました。



みんなで、ギンヤンマが空に飛び立つのを見送りました。

●ホタル飼育も行っています。

七月にはホタル鑑賞会も開いています。

1年かけて、卵から幼虫に育てて、羽化させています。田んぼで自生することはできませんが、理科室の飼育箱で育てて、成虫になったら放しています。理科室前のホタルです。ホタルの光はとってもきれいです。



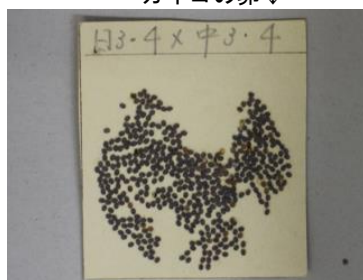
夏には、ホタルが産んだ卵を幼虫にかえして、またホタルのいのちをつないでいきます。この黒い小さなものがホタルの幼虫です。エコクラブのホタルレンジャーのメンバーです。



●カイコの飼育も行っています。

これはカイコの卵です。筑波の研究所からいただいています。卵から幼虫がかえりました。エサはクワの葉だけです。安行小には、クワの木がほとんどありません。そこで、5年前クワの植樹を行いました。

カイコの卵↓



クワの葉



芝川近くの在家小学校からクワの木をいただきました。5年前に植えたくわの木が… 今ではこんなに大きく育ちました。おいしいクワの実もたくさんつけます。

エコクラブでは、クワの実とりをして、クワの実ジャムを作り、それをクラッカーにつけて食べました。

カイコは脱皮してどんどん大きくなります。これは、カイコが作ったまゆです。

黄色いのがメス、白いのがオスです。遺伝子操作で色が変わっているのだそうです。



まゆをお湯につけて、糸取りもしました。ダンボールの板に、竹ぐしをさしてくるくる回して糸をとります。2000mを超える長さがあります。みんなで糸取りを楽しみました。

●この木は、安行小の校庭にあるケヤキです。

大きなケヤキからは毎年、秋になるとたくさんの落ち葉がでます。落ち葉を集めて捨てるのはもったいないですね！そこで、エコクラブで校庭に大きな落ち葉だめを作りました。校務員さんの落ち葉掃除が楽なように、校庭にも、昇降口にも、中庭にも作りました。

カブトムシ飼育



昨年、早めにつくっておいた中庭の落ち葉だめを調べてみました。

いました、いましたカブトムシの幼虫です。こんなに大きなカブトムシの幼虫がたくさん出てきました。落ち葉だめを作って、カブトムシのいのちをつないでいきます。

●これはケヤキの木です。

安行小の子どもたちはこの樹齢100年の大ケヤキの下で元気よく遊んでいます。この大けやきは、ぼくたちのことを



ずっと見守ってきてくれました。

ぼくのお母さんも安行小の卒業生です。ぼくだけでなくぼくお母さんのことも見守ってきてくれました。

毎年、エコクラブで、このケヤキの木でツリークライミングを行っています。ツリークライミングは、とても楽しいです。木にのぼるうちに、木と友だちになったような気がしてきます。

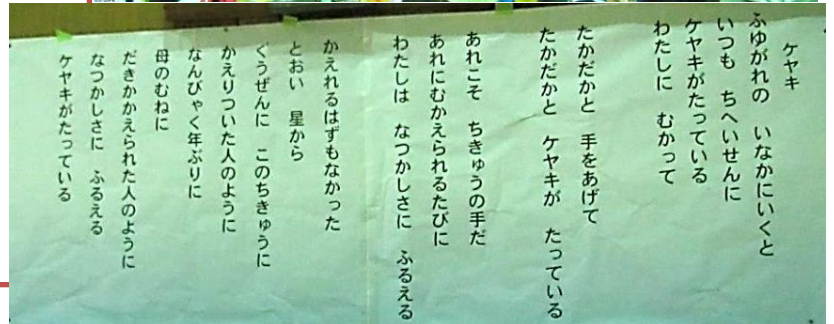
最後に、安行小のみんなで「けやき」という合唱をします。みなさんも、よかったら一緒に歌ってください。



冬枯れのいなかに行くと いつも地平線に
ケヤキが立っている わたしに向かって
高々と手をあげて 高々とケヤキが立っている

あれこそ 地球の手だ あれに迎えらるるたびに
わたしは なつかしさに震える。

帰れるはずもなかった 遠い星から
偶然に この地球に帰り着いた人のように
何百年ぶりに 母の胸に
抱きかかえられた人のように
なつかしさに 震える
ケヤキが立っている



7. 安行小学校環境委員会

安行小学校には、校内環境通貨、くすのきチケットがあります。エコ活動をすると、このくすのきチケットをもらうことができます。黄色いチケットが1くすのき、緑が5くすのき、ピンクが10くすのきです。このクスノキチケットを使って、楽しくエコ活動に取り組んでいます。

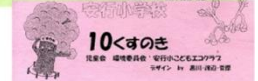
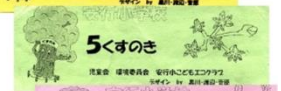
児童会では、エコキャップ運動をしています。おうちでためたエコキャップを、ペットボトルはビニールに入れて学校にもってきてもらいます。そうすると、5くすのきゲットです！たくさんたまったら、リサイクル業者の方にトラックで取りにきてもらいます。

環境委員会では、古紙・牛乳パックリサイクルに取り組んでいます。

見てください。これが古紙、牛乳パックをリサイクルしてもらったトイレトーパーです。給食で牛乳を飲んだ後、牛乳パックを開いて、あらいかごで洗います。あらいかごを使えば、2回の水換えできれいになります。

すきまをあけて、かごに並べてかわ

かします。かわいた牛乳パックは手作りの回収箱にそろえて入れます。ちょうど40枚ぐらいの牛乳パックをきちんとそろえると入るような大きさに作ってあります。



安行小学校では1年生も1学期から牛乳パックを開いてリサイクルに協力しています。環境委員会がパックの開き方を教えて覚えてもらいました。じょうずに開けるとごほうびに1クスノキもらえます！給食の後、食器の片付けと一緒に、昨日のかわいい牛乳パックを運んでもらって回収しています。この回収箱にきれいにつめていきます。

見てください。およそ900人分の牛乳パックがたったこれだけにまとめることができます！

去年は11060kgの古紙、牛乳パックをリサイクルしました。帰ってきたトイレットペーパーはおよそ900個。トイレットペーパー1000個が環境委員会の目標です。

環境委員会では、コンポストで土づくりもしています。給食でデザートの出る日だけコンポストに回収しています。この日はミカンの皮を集めました。上から土をかぶせると、土の微生物がミカンの皮を分解して土にもどしてくれます。

安行小学校ではヤギを飼っています。わたしたち飼育委員会が、水がえ、エサやり、掃除の仕事をしています。ヤギ飼育でもリサイクルをしています。

月に一回、ヤギの「ふん」をしきわらと一緒に学校園、畑のそばの土置き場まで運びます。

土置き場は、コンポストのすぐそばです。飼育委員会が運んだやぎのふん、しきわらを、時間をかけて寝かせて、秋から冬にはそれが肥料となって環境委員会が畑に入れてたがやしています。生き物とつながった、これも大きなリサイクルになっています。

これで、安行小学校のエコ活動、リサイクルについての発表を終わりにします。



8. 戸塚南小あすばるエコクラブ

発表のテーマは「地球はビオトープ」です。戸塚南小あすばるエコクラブは、戸塚南小学校の環境活動からはじまったエコクラブです。



戸塚南小学校は、今日が学校の音楽会で参加できません。そこで、南小のエコクラブの卒業生の岩川が代表して報告させていただきます。

私は現在、専門学校で環境について学んでいます。

○10月5日、学校とエコクラブで協力して、竹林間伐を行いました。

今回は竹林の下草を切る手入れが中心でした。年間4回行っています。この写真は、手入れの前。そして、後。



どうですか？竹林の下にも光が入り、風がよくぬけるようになりました。

古い竹も切り出しました。切った竹を使ってもの作りもしています。
 この日は何を作ったと思いますか。なたを使って竹を割っていききました。
 のこぎりで竹をちょうどいい長さにします。自分の背丈ぐらいです。竹に
 切り込みをいれています。何だかわかりましたか？

たこ糸をはって、できあがり。弓矢を作りました。矢はセイタカアワダ
 チソウの茎をつかいました。まっすぐで軽いので、よく飛びます。

竹林間伐の後は毎回、切った竹を使って物作りをしています。



○6月8日の竹林間伐では、竹を100本近く切り出しました。

この日は竹とんぼをつくりました。グラウンドで高く飛ばしました。
 最後には、流しそうめんをみんなで食べました。

木や竹を切ることを頭からいけないことだとは思っていませんか？
 竹林や森を育てるには、人の手入れも必要です。



○4月28日にはタケノコ掘りもしました。

取ったタケノコは天ぷらにして食べたり、焼きたけのこでいただきました。ちょっとぜいたくですね。自分で掘ったタケノコをみんなで
 楽しくいただきました。

出てきたタケノコをそのままにしておくと、竹林が密集しすぎて、
 光りをもとめて竹が外へ外へとひろがり、木をだめにしてしまいます。
 だからタケノコ掘りも、竹林間伐、手入れの一つになります。



竹林のある斜面林には水路があります。この水路で、わたしたちがアカガエルを育てています。
 これがアカガエルです。埼玉県準絶滅危惧種で数がへっています。

アカガエルを育てるアカガエルプロジェクトは、私が南小で4年生の時から始まりました。9年前のことです。この左の女の子がわたしです。



戸塚南小にエコクラブで学校ビオトープを作りました。10年前のことになります。アカガエルの卵をオタマジャクシに育てて学校ビオトープに放しました。そしてその2年後、アカガエルの卵が池に産まれました。



水路でもアカガエルが育つように、水路に井戸を掘りました。8年前のことです。掘った井戸から水が出た瞬間の写真です。手押し井戸ができあがり、手で押すと水が勢いよく出てきました。水路の周りに、アカガエルやたくさんの生き物がすみやすいように、植樹をしていきました。

さらに川口市にお願いして、5年前に井戸に電動ポンプがつけました。



水路の水が復活して、アカガエルは順調に増えていきました。毎年春に、アカガエル調査を行っています。講師は環境アドバイザーの横山隆さんです。2010年から始まって、もう10年たちます。0個から始まって、順調に増えていきましたが、昨年、今年と急激にへっています。特に、今年の春は雨が降らず、井戸の水も一時涸れて出なくなりました。みんなで、アカガエル救出大作戦を行いました。



水を集めて小さな水たまりの池を作って、そこにアカガエルの卵を放しました。さらに、学校ビオトープにも放しました。ここなら水を確保することができます。左の写真が8年前の私、そして、右が今の私です。アカガエルは順調に増えてきましたが、水が涸れるといっせいに絶滅するかも知れません。

鳥に食べられたり、いたづらをされたりしないようにネットもはっておきました。



学校ビオトープも毎年、竹林と同じように手入れをしています。水もよどんでしまわないように、たまに入れかえます。



7年前には屋上にも池をつくりました。冬に、寒い中みんなの手作りの池です。時間がたって、この屋上の池にもアカガエルが卵を産んでいます。これから、わたしたちは子どもビオトープ会議を開いて、屋上に池を中心に、屋上ビオトープ作りにも挑戦する予定です。



ビオトープは、たくさんの生き物がつながりあって、命をはぐくむところです。竹林と同じように人の手入れも必要です。みなさん、この地球もビオトープだと思います。たくさんの生き物がつながりあって暮らしています。そして、そこには、私たちのきちんと考え、準備した手入れも必要なのだと思います。



7. 特別公演 劇団ちよっぷ「環境戦隊エコレンジャー」



環境活動の発表について思ったこと（アンケートから）

- ・さまざまな学校の活動や私の知らないクラブ活動、ボランティアなど、自然や命を大切にする行動を発表したり、あまり裕福ではない国へ日本のものを持って行き、それをあげ、「楽しくやってね」という思いが感じ取れました。ほかに、地球温暖化やリサイクルのことなどで気を付けたらよい点、みんなに伝えたいことなど、初めて知ることはいくつかありました。
- ・劇で分かりやすく伝えてくれたのでとても勉強になりました。 ・エコレンジャーがおもしろかったです。
- ・最後の子どもたちの合唱がとても感動しました。
- ・はじめは緊張したけど、がんばってみんなで歌を歌ったからいい歌声にできた。
- ・環境のことについてくわしく聞くことができました。また、エコレンジャーの発表はおもしろく、電気をこまめに消すということ学びました。これからは、車をあまり使わず歩く、電気を無駄遣いしない、ペットボトルを買わないなど環境にいいことに取り組んでいこうと思いました。
- ・最初は、エコってことがあまり詳しくわからなかったけど、今日、牛乳パックをトイレットペーパーにしている、普通のごみが再利用されていて驚きました。
- ・二酸化炭素が増えると電気がおかしくなるということを知った。
- ・ぼくもCO2を減らそうと思いました。 ・ぼくもエコに協力したいと思いました。
- ・小学生をコントロールするのは大変難しいと思いました。
- ・環境活動について、子供と一緒に学ぶ良い機会となりました。ごみの分別や節電など身近なところから子供と一緒に取り組んでいきたいと思います。
- ・小4の女の子の話がすごくひびきました。
- ・いつか差間小や上根中に来てください。自然はたくさんあっても、勉強の時間が足りない。何も知らない子どもたち、動物もすべ死に、小屋だけが残り飼育委員会も潰れました。大切なことを何も知らない。それが自然がたくさんある差間、見沼に行ったことのない子が大半。勉強に対する意識は高いです。
- ・環境の話は、大人が小難しい言葉で説明するより、子ども同士でわかりやすく説明されていてよかった。



ワークショップ体験



① 種を集めよう 西川 昭三 様

植物が仲間を増やすための種子、命のカプセル。
遠くへ広げるための様々な仕組み、楽しかったです。



- ・貴重な植物もあり、いろいろなどんぐりの見分けも教えていただき、とても楽しかったです。
- ・種と一口に言っても、散布の仕方や形がたくさんあって、学校で勉強するよりも楽しく理解できました。

② 自然の森 どんぐりゴマ選手権 横山 隆 様

森を探検して、オニヤンマのヤゴを見つけました。たくさんのどんぐりを拾って、どんぐりゴマ選手権も盛り上がりしました。



- ・どんぐりをさがす途中でいろいろな生き物がいておもしろかった。
- ・1回勝てたのでうれしかったです。
- ・童心に戻って楽しめた。

③ 自然材料のエコ工作 井原 勲 様

多くの子供たちが申し込みしていたので、色々と材料を準備して行っただけですが、当日の参加者が少なく残念でした。その中でも、子供たちは自分の感性で工夫して作品を完成させてくれました。最後の発表の時も全体にまとまりがなく終わったように感じました。

- ・つけるのところが楽しかったです。
- ・くっつけるのは難しかったけど楽しかったです。いろんな木の実や自然の材料があって楽しかったです。
- ・笛を作るのが楽しかったです。
- ・いろんな材料をみるところがおもしろかった。



たです。

- ・とてもたくさんの種類の材料が魅力的で、子供たちがわくわくしながら選んで、考え作っていてよかったです。ありがとうございました。

④ 赤堀用水と湧水を調べよう 林 美恵子 様

本日の参加児童、保護者ともに熱心に興味を持って取り組んでくれました。水質とあわせて、出合った動植物も取り上げ、用水や湧水を取りまく環境まで考えました。道中、地球温暖化のことまで話題が発展しました。



⑤ 葉脈でしおり作り 吉野 修弘 様

みんなで楽しく葉をけずって、しおり作りをしました。作った物は大事に、そして本をたくさん読む時に使ってくれたらと思います。

- ・葉っぱを削るのが難しかったけれど楽しかった。
- ・いろいろな葉脈を使ってしおりを作りました。画用紙に名前やメッセージを書いたりして楽しかったし、葉脈の本数がすごいなと思いました。
- ・しおりを葉脈でつくれて楽しかったです。
- ・しおりに入れる葉っぱを作ることが楽しかったです。なぜならけずった後の葉脈を見ると、まるで迷路だからです。
- ・最初は、ヒイラギ、モクセイの葉脈をはがしました。爪の先を使ってやさしくはがすのが難しかったです。
- ・葉っぱがあんなふうになるんだなと思いました。チラシを見たときはなぞ だったけど、なぞが解けました。だけど3つのうち2つ失敗して悔しかったです。
- ・家族全員分作りたかったのですが、機械が使ってしまったので作れませんでした。
- ・葉脈を出すところが楽しかったです。しおりを作るときはドキドキしたけどうまくできてよかったです。オリジナルのしおりを作るときがとても楽しかったです。



⑥ ツリークライミング 大西 一彦 様

- ・上から見た景色がきれいでした。
- ・木にすわって下を見たら、高かったけど楽しかった。だからまたやりたい。降りる時ゆらゆらしてエレベーターみたいで楽しかった。
- ・とても貴重な体験ができてよかったです。楽しんでいました。ありがとうございました。
- ・木を登るときが一番楽しかったです。
- ・高さがよくて、スタッフさんも優しくよかったです。
- ・初めは高くてこわかったけど、だんだんやわらいできて楽しかったです。降りる時も楽しかったです。楽しませてくれてありがとうございました。
- ・体験してみたかったので、大変楽しかったです。また参加したいです。



⑦ 作ろう！飛ばそう！平成とんぼ！ 小峰 敏郎 様

竹から、けずって、バランスをとって、火であぶってねじって、竹とんぼを作って飛ばしました。

(安形小学校 HP より)



⑧ 染物教室 神山 裕則 様

学校の材料から染物をするので、今回はクワとエノキで染めました。良い色に染まりました。時間が短いので大変でした。

- ・染物の工程が興味深く、柄の出し方にさまざまな工夫があることを知ることができてよかった。
 - ・みんなで歌を歌って楽しかったです。
- ・色が変わったことが楽しかったです。・しぼるのが大変でした。
- ・葉から一から作って色を作った、楽しかったです。
- ・どんな色が出るかわくわくしながら、子供たちが楽しそうに染物をしていたので、参加させてよかったと思いました。
- ・ケヤキ、クワの木が、それぞれ酸化することで色が変ることなど、大変勉強になりました。ありがとうございました。火を使う作業は最新の注意を払う中で、子供たちの安全の確保の大切さを再認識しました。
- ・染めるだけじゃなくて、いろいろ工夫があっっておもしろかった。
- ・染めるまでに、布を染めやすくしたりして工夫がされていること、ミョウバンにつけて色を出すことを初めて知ることができた。
- ・染物で移動してパシャパシャしたのが楽しかったです。
- ・最初染めるだけだと思っていたけど、木と葉を切ったりして楽しかったです。
- ・2回目の染物をしました。じょうずにできてうれしかったです。
- ・最初は茶色だと思ったけど、最後は黄色になった。
- ・最初にどれを入れるかわからなかったけど楽しかったです。



⑨ 電気を作って手作り模型で遊ぼう！ 萩原 利夫 様

内容：エネルギーのお話をして、いろいろな機械はエネルギーの変換器であること。次にストローにエナメル線を巻き、コイルに電流を流すと、勢いよく磁石が飛び出すリニアモーターの原理を知る模型を作って遊んだ。

感想：内容は難しいが、実際に模型を作って遊ぶことによりエネルギーへの関心が持てたと思う。エネルギーは変換を上手に行うことで、大切に使うことを学んでほしい。

- ・ちょっとむずかしいけど、とても楽しかったです。
- ・講師の萩原先生が、やさしくていねいに教えてください楽しく作ることができました。
- ・やりごたえのある工作を、やさしく最後まで教えてくださいよかったです。



⑩ 手作りおもちゃ 四條 延子 様

コマ作り、牛乳パックに絵をかき、色を塗りました。時間があつたので笛も作りました。はじめのうちは緊張気味の子もたちも最後には全員で輪になって遊びました。笛はおまけでしたが、大喜びでした。時間が余りましたが、親子で発表もしてもらえました。

- ・笛が鳴ったらおもしろかったです。
- ・手作りごまと笛が作れて楽しかった。
- ・こままわし、色をぬってシールもはってかわいくなって、回したらものすごくきれいだった。



⑪ エコクッキング 内藤 康子 様

火を使わないなど、地球にやさしいのに栄養があり美味しい食べ物ができることにとてもおどろきました。

- ・うちの息子は料理男子。エコ以上に非常時に生きのびる食べ物を作って勉強になりました。
- ・子供たちが協力しながら、とても楽しそうに参加していました。楽しい思い出になったと思います。
- ・フルーツパフェは二段重ねにしておもしろいなと思いました。みそ汁はお湯を入れて混ぜるだけでおもしろいなと思った。乾パンはおかとかか



青のりをかけたりしてすごくおいしかった。すごく早い食べ物だなと思いました。

- ・乾パンと少しの材料で3食も作れて驚きました。手軽でおなかにたまるので、小腹がすいたときにいいなと思いました。ふだん作らないものがたくさんあり楽しかったです。
- ・簡単に早くできるとは思ってなかったのでビックリしました。安全に火を使わないでできるなんてすごいなと思いました。おいしかったけどすごくおなかにたまっておなががいっぱい。お湯を使ったけどやけどをせずにできてよかったです。初めて乾パンを使って食べたとてもおいしかったです。いつか家族と乾パン料理をつくってみたいなと思いました。その場では恥ずかしく「おいしかった」とは言えなかったけど、心の中ではおいしいと思いました。
- ・火を使わず、短時間でできたし、お腹にたまる料理を作った。また乾パンを使っているの、非常の時に使えると思った。
- ・みそ汁がおいしかった。いろいろな作り方があって楽しかった。いろいろ学べた。
- ・初めて作る料理で、やり方がわかったから、今度家族みんなに作ってあげて「おいしい」と言ってもらいたいです。みそ汁がとてもおいしかったです。また今度食べてみたいです。あと「おいしい」と言ったらうれしそうだったのでよかったです。



⑫ 牛乳パックでハガキ作り 谷崎 英子 様

はじめに、給食の牛乳パックがリサイクルされトイレットペーパーになるまでを確認し、いざエコはがき作りに挑戦!新米講師のおぼつかない教え方に反し、子どもたちの意欲、集中力と作業習得の速さは素晴らしく、楽しく充実した時間を過ごすことができました! 事前の準備と活動のサポートをして下さった環境会議の皆様へ感謝です!

- ・牛乳パックでとてもきれいな和紙のような紙ができて感動しました。
- ・最初はあまりやりたくなかったけど、やってみたら楽しかったです。
- ・もっといろいろな形のハガキを作りたい。
- ・牛乳パックからトイレットペーパーまで、どのように作れるのかを知ることができてよかったです。
- ・家でも作ってみたいです。・ハガキをつくったのが楽しかったです。



秋晴れに恵まれた暖かい一日、自然環境豊かな安行小学校をお借りして、約 230 名参加で大盛況の中、「子ども環境フォーラム 2019」を楽しく無事に開催できました。

2 度目の会場校としてご協力いただきました安行小学校では、学校のはからいで独自に申込日を設定して声掛けしていただき、安行小学校から 100 名以上の参加があり、大変うれしい開催でした。ありがとうございました。

今回は小学生・中学生の個人の発表もあり、それぞれに自分の言葉で環境を考え、温暖化防止にできる事をみんなに呼び掛けるものでした。エコクラブや環境委員会も進化して「今年が目玉体験」を発表、担当の先生方の熱意を改めて感じました。参加発表に至るまでの経過に感謝です。

また、安行小学校の大合唱「けやき」は、心にしみる優しく美しい歌声でした。

ワークショップでは、新しく「葉脈のしおり作り」、「竹とんぼ」、「牛乳パックでハガキ作り」を行いました。

毎回変わらず担当と準備をしてくださる講師の方々には感謝しています。鳩ヶ谷高校の担当の先生と学生ボランティアのサポートもありました。魅力的だったことがアンケートでみることができました。

「老若男女を一堂に会して、1 日環境の事を考えて過ごしてみよう!」と 2004 年から始め、現在の学校を会場としての「子ども環境フォーラム」はトータル 10 回目を終え、総勢 1000 人からの参加者を迎えたこととなります。当初の参加者も成人を迎えています。ここでの出会いや経験が、未来の環境作りに活かされることを期待したいと思います。

永年ご協力いただきました多くの皆様へ心より感謝いたします。ありがとうございました。

今後ともよろしくお願ひ致します。

認定 NPO 法人川口市民環境会議

子ども環境フォーラム 2019 報告書

発行:2020年2月

認定 NPO 法人川口市民環境会議

<http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife>